



2022年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社

上場取引所 東

コード番号 7065

URL <https://www.upr-net.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員

（氏名）酒田 義矢

問合せ先責任者（役職名）経営企画部長

（氏名）市川 善教 TEL 03 (3593) 1728

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年8月期第1四半期の連結業績（2021年9月1日～2021年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第1四半期	3,302	2.6	170	△9.4	465	50.4	298	49.4
2021年8月期第1四半期	3,217	2.9	188	△46.8	309	△21.6	199	△35.4

（注）包括利益 2022年8月期第1四半期 297百万円（49.5％） 2021年8月期第1四半期 199百万円（△26.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第1四半期	38.92	—
2021年8月期第1四半期	26.04	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第1四半期	18,564	7,414	39.8
2021年8月期	18,528	7,215	38.8

（参考）自己資本 2022年8月期第1四半期 7,394百万円 2021年8月期 7,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	—	—	13.00	13.00
2022年8月期	—	—	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,574	4.1	260	△13.6	575	20.0	370	24.2	48.31
通期	13,831	7.0	1,018	92.0	1,200	41.1	779	38.8	101.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年8月期1Q	7,660,000株	2021年8月期	7,660,000株
2022年8月期1Q	480株	2021年8月期	448株
2022年8月期1Q	7,659,550株	2021年8月期1Q	7,659,656株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種等により感染者数が減少に転じ、10月に緊急事態宣言が全面解除されるなど活動制限が緩和され、段階的な経済活動再開による持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス「オミクロン株」の出現等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、トラックドライバーの長時間労働の改善につながるパレット輸送や共同配送によるレンタルパレットの需要は引き続き堅調に推移しました。新型コロナウイルス感染症に起因する生産調整等により在庫が減少した影響で落ち込んでいた保管用レンタルパレット需要は徐々に回復しました。また物流拠点投資は継続しており、販売増加につながりました。その他、保管用レンタルパレットの大口紛失処理により、想定を上回る受取補償金を計上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,302百万円（対前年同期比2.6%増）、営業利益は170百万円（同9.4%減）、一時的な受取補償金の計上により経常利益は465百万円（同50.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は298百万円（同49.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（物流事業）

総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）において、労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）などが提言されるなど、物流業界において、トラックドライバーの高齢化や人手不足は恒常的な課題となっています。各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がる輸送用レンタルパレットの需要は高い水準で推移し、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は引き続き取扱量が拡大し、保管用レンタルパレットも徐々に持ち直しの動きが見られたことで、レンタルパレット稼働率が回復基調に向かいました。なお、保管用レンタルパレットの大口紛失処理により、想定を上回る受取補償金を計上しました。販売事業は旺盛な物流拠点投資に支えられ物流機器等の販売が順調に推移し、海外事業は概ね計画通り推移しました。物流IoT事業は、引き続き医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）が貢献しました。アシストスーツ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会中心の営業からオンライン体験会やWEB広告からの集客へ転換を図っております。全体的に販売が伸び悩みましたが、「Ep+ROBO」の無料お試しキャンペーンを実施するなど需要の掘り起こしを行っております。

以上の結果、物流事業では、売上高3,051百万円（対前年同期比1.8%増）、セグメント利益724百万円（同48.4%増）となりました。

（コネクティッド事業）

駐車場、エレベーターの遠隔監視や工場IoT等に係る機器販売が順調に推移する一方、半導体不足の影響により顧客のカーシェアリング車両に納車遅延が生じたことで、車載器販売が予定台数を下回りました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高250百万円（対前年同期比14.0%増）、セグメント損失26百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が309百万円増加した一方で、現金及び預金が438百万円減少したことによるものであります。固定資産は13,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が64百万円増加したこと、及び無形固定資産が37百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は18,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円増加いたしました。これは主に買掛金が180百万円増加したことによるものであります。また固定負債は7,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が355百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、最近の実績の動向を踏まえ、2021年10月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2022年8月期第2四半期業績予想の修正について」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,714,009	2,275,987
受取手形及び売掛金	1,621,687	1,931,514
電子記録債権	149,664	145,047
商品	467,293	529,044
原材料及び貯蔵品	15,451	12,216
その他	221,331	192,239
貸倒引当金	△2,564	△878
流動資産合計	5,186,873	5,085,171
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	9,603,852	9,726,293
その他（純額）	2,805,018	2,747,512
有形固定資産合計	12,408,871	12,473,806
無形固定資産	347,722	385,013
投資その他の資産		
その他	597,213	632,738
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	585,263	620,788
固定資産合計	13,341,857	13,479,608
資産合計	18,528,731	18,564,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,217,783	1,398,475
1年内返済予定の長期借入金	1,681,786	1,616,216
未払法人税等	85,553	200,707
賞与引当金	171,203	265,340
役員賞与引当金	—	9,600
その他	419,863	265,043
流動負債合計	3,576,189	3,755,384
固定負債		
長期借入金	6,954,360	6,598,601
役員退職慰労引当金	525,426	524,061
退職給付に係る負債	238,139	252,915
資産除去債務	15,533	15,579
その他	3,202	4,077
固定負債合計	7,736,662	7,395,234
負債合計	11,312,852	11,150,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	6,709,453	6,908,005
自己株式	△825	△923
株主資本合計	7,195,976	7,394,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,507	11,507
為替換算調整勘定	△11,553	△11,726
その他の包括利益累計額合計	△45	△218
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	7,215,878	7,414,160
負債純資産合計	18,528,731	18,564,779

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2021年11月30日）
売上高	3,217,395	3,302,240
売上原価	2,134,097	2,266,333
売上総利益	1,083,298	1,035,907
販売費及び一般管理費	894,743	865,078
営業利益	188,554	170,828
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	6
受取補償金	43,407	290,665
保険解約返戻金	75,057	—
その他	12,845	14,037
営業外収益合計	131,321	304,708
営業外費用		
支払利息	10,173	9,895
その他	108	32
営業外費用合計	10,281	9,927
経常利益	309,594	465,609
特別利益		
固定資産売却益	—	160
特別利益合計	—	160
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	3,740
その他	7,552	200
特別損失合計	7,552	3,940
税金等調整前四半期純利益	302,042	461,829
法人税、住民税及び事業税	123,257	204,047
法人税等調整額	△20,699	△40,343
法人税等合計	102,558	163,703
四半期純利益	199,484	298,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,484	298,125

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2021年11月30日）
四半期純利益	199,484	298,125
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△222	△172
その他の包括利益合計	△222	△172
四半期包括利益	199,261	297,952
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,261	297,952
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,997,185	220,210	3,217,395	—	3,217,395
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,997,185	220,210	3,217,395	—	3,217,395
セグメント利益又は 損失 (△)	487,999	△4,137	483,861	△174,267	309,594

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△174,267千円には、セグメント間取引消去5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,273千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2021年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,051,268	250,972	3,302,240	—	3,302,240
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,051,268	250,972	3,302,240	—	3,302,240
セグメント利益又は 損失 (△)	724,161	△26,492	697,669	△232,059	465,609

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△232,059千円には、セグメント間取引消去△7千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。